

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	130801		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。												
事務事業名	シルバー人材センター運営補助事業						担当部局・課	健康福祉部 高年福祉課				評価結果 A 上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。			
事業内容	「共働・共助・自主・自立」の理念に基づき、働く機会を得たいという高齢者のニーズに応え、また、高齢者の多種多様な能力を活用し、高齢者の社会参加を促進するとともに、生活支援や介護支援サービスの提供を行なうための運営補助						事業開始(予定)年度								
							昭和55年度								
							事業終了(予定)年度								
						—									
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現												
		項目	きめ細かな地域福祉の推進												
		施策	高齢者の就労支援												
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。														
事業の目的	高齢者の就業機会を確保し、知識と経験の活用と社会参加の促進を図ることにより、高齢者の生きがいと健康づくりを行なう。						予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	(款) 民生費 (項) 老人福祉費 (目) 老人福祉総務費 (事項) 高齢者生きがい対策事業費							
事業費等の概算	平成17年度(決算)						平成18年度(予算)								
	事業費	29,935千円	財源内訳				事業費	29,812千円	財源内訳						
			国・県補助金等		—				国・県補助金等		—				
			市 債		—				市 債		—				
			その他(使用料等)		—				その他(使用料等)		—				
			一般財源(市税等)		29,935千円				一般財源(市税等)		29,812千円				
	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)						
	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。						
	経費合計	30,792千円					経費合計	30,669千円							
活動指標	指標名(単位)	年度末会員数（人）						計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度				
	意味・算式等	登録会員の増							計画値	2,500	2,550				
									実績値	2,385					